

ワイヤレスデータ POS システム
取扱説明書
(W5920)

ご使用になる前に必ずお読みください

安全のための警告

- ・ AC プラグは、電源アダプターのマークされた入力部分に対応する AC ソケットに接続してください。
- ・ 爆発性のあるガスが存在する場所では、使用しないでください。
- ・ 怪我を避けるために、許可されていない人は、電源アダプターの分解しないでください;
- ・ 本品は、クラス A 製品です。生活環境に干渉する電波を引き起こすことがあります。その場合、ユーザーは、電波干渉に対して適切な措置を講じることが推奨されます。
- ・ バッテリー交換：
 1. 間違って交換するとバッテリーの爆発の危険が生じることがあります。
 2. 交換されたバッテリーは、適切なメンテナンス担当者により廃棄を行ってください。また、火に投げ込まないでください。

重要な安全上の注意

- ・ 本デバイスは、パスワードによって守られたハンドヘルドデバイスです。ユーザーは、パスワード入力の際、他人に覗き見られないよう注意してください。
- ・ 雷雨時には、落雷の危険性を避けるため、デバイスの設置及び使用は行わないでください。
- ・ 異常な匂い、熱、または煙に気づいた場合は、直ちに電源をオフにしてください。
- ・ ペーパーカッター部分は、鋭く危険なので、触れないように気を付けてください。

弊社からの提案

- ・ 水によるトラブルを防止するため、デバイスを水や湿気の多い場所では、使用しないでください。
- ・ 極端に寒いところや高温になる場所（例えば、火のついた煙草や炎の近く）では、デバイスを使用しないでください。
- ・ デバイスを落としたり、投げたり、曲げたりしないでください。
- ・ デバイ스에埃などが入り込まないように、清潔で埃のない環境での使用をお願いします。
- ・ デバイスを許可無く医療機器の近くで使用しないでください。

弊社からの宣言

弊社は、以下の行動に対する責任を負わないものとします。

- ・ このガイドに指定されている条件に合わない使用およびメンテナンスによる故障・破損・損害。
- ・ 弊社は、オプション品または消耗品（最初の製品付属品または弊社承認品を除く）による故障・破損またはそれに起因する損害に対して、一切責任を負いません。ユーザーは、弊社の同意なくデバイスの分解、改造を行うことはできません（その権利を有しません）
- ・ 製品のオペレーションシステムは、公式システムアップデートに対応しています。しかし、オペレーティングシステムを第三者の ROM システムに変更したり、ユーザーがクラッキングにより、システムファイルを改変した場合は、システム不安定性やセキュリティ上の脅威・危険を引き起こす場合があります。

免責事項

製品のアップグレードの結果、本書の詳細は、製品と一致しない場合がありますが、それは、実際の製品に準じるものとします。弊社は、本書の解釈の権利を保有しています。また、予告なしに仕様を変更する権利を保有しています。

CE 認証情報 (SAR)

本デバイスは、典型的な身体装着使用のために、デバイスの背後 0cm の距離で試験されています。高周波曝露規制を守るため、ユーザーの体とデバイスが 0m を維持した状態で使用してください。ベルトクリップ、ホルスターおよび同様のアクセサリは、金属構成要素を含まないものを使用してください。この条件を満たさないアクセサリの使用は高周波曝露要件に適合しない場合があるので、使用を避けてください。ペースメーカー、補聴器、人工内耳、その他を使用している場合は、医師のアドバイスに従って、デバイスを使用してください。

製品の安全に関する警告

責任を持って使用してください。怪我を避けるため、使用前にすべての指示と安全情報をお読みください。メーカーにより提示されたデバイスの操作周囲温度は 0°C~35°C です。

バッテリーの安全性

バッテリーは、周囲温度 0°C~35°C の環境でのみ使用してください。

- ① 注意：バッテリーを誤って交換すると、爆発の危険があります。メーカーによって指定されている専用バッテリーのみ交換可能です。使用済みのバッテリーは、バッテリーメーカーの指示に従い廃棄してください。
- ② 注意：指定以外のバッテリーに交換した場合、爆発の危険性があります。使用済みバッテリーの処分については説明書に従ってください。
- ③ 注意：バッテリーの充電温度の上限は 35°C です。

アダプターの安全性

充電を行う場合は、一般的な室温と通気性の良い環境で行なってください。0°C~35°C の範囲内の温度で充電を行ってください。標高が 2km 以下でのみ使用可能です。

警告：適合した機器および屋内でのみ使用してください。

カムフラッシュの安全性

LED は、表示灯としてのみ使用されます。

Wi-Fi セーフティ

Wi-Fi の使用が禁止されている地域、または Wi-Fi が使用できない地域、飛行中の飛行機などで干渉や危険を引き起こす可能性がある場合は、WiFi をオフにしてください。

適合に関する宣言



ここに、Shanghai Sunmi Technology Co Ltd.は、スマート POS システム (モデル番号: W5920) は、RED2014/53/EU の必須要件とその他の関連規定に従うことを宣言します。

技術的特徴と特徴

このデバイスには、次の機能と特性が含まれています。

GSM :

動作周波数: GSM850 : 824-849MHz / GSM900 : 880-915MHz /
DCS1800 : 1710-1785MHz / PCS1900 : 1850-1900MHz
送信電力: GSM850 : 32.9dBm / EGSM900 : 32.52dBm /
DCS1800 : 28.90dBm / PCS1900 : 29.48dBm

WCDMA :

動作周波数: WCDMA2100 : 1920-1980MHz /
WCDMA1900 : 1800-1910MHz /
WCDMA850 : 824-849MHz /
WCDMA900 : 880-915MHz
送信電力: WCDMA2100 : 22.68dBm / WCDMA1900 : 21.41dBm /
WCDMA850 : 23.29dBm / WCDMA900 : 22.67dBm

Wi-Fi :

動作周波数: 2412MHz~2462MHz
送信電力: CE : 13.33dBm / CE BLE: -5.83dBm

BT / BLE :

動作周波数: 2402-2480MHz
送信電力: CE BT : 3.3dBm / CE BLE : -5.83dBm

GPS :

動作周波数: 1575.42MHz

NFC :

13.56MHz -15.335MHz

FCC 声明

このデバイスは、FCC 規則の 15 条に準拠し、操作は次の 2 つの条件に従います。

- (1) このデバイスは、有害な干渉を引き起こしません。及び、
- (2) このデバイスは、受信された干渉を受け、望ましくない動作を引き起こす可能性があります。

注：デバイスへの不正な改造により、ラジオやテレビへの干渉が干渉が起きた場合、メーカーは、一切責任を負いません。そのような改造は、ユーザーの権利を破棄することになります。

注：このデバイスはテストされており、FCC 規則の Part 15 に従ったクラス B デジタル機器の制限値に準拠しています。これらの制限は、居住用施設での有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。

このデバイスは、無線周波数エネルギーを放射するため、指示に従わず使用すると、有害な干渉を無線通信に引き起こすことがあります。しかし、これは、指示に従った設置を行った場合に、干渉が発生しないことを保証するものではありません。もし、デバイスがラジオやテレビに有害な干渉を引き起こす場合、デバイスの電源を切ったり入れたりして解決する場合があります。ユーザーは、下記の 1 つまたは複数の手法で干渉の補正を試行することを奨励します。

- ・ 受信アンテナの向きを変えたり、移動したりします。
- ・ デバイスと受信機の設置間隔を広げます。
- ・ デバイスを受信機が接続されているものとは異なる別回路のコンセントに接続します。
- ・ 販売店または経験豊富なラジオやテレビ技術者に相談してみてください。

FCC の注意：

当事者によって明示的に承認されていない変更または改造は、デバイスを操作するユーザーの権利を無効にします。このトランスミッターに使用されるアンテナは、共同設置したり、他のアンテナまたはトランスミッターと連携して操作してはいけません。国コード選択はアメリカ以外のモデルが対象であり、全てのアメリカモデルでは利用できません。FCC 規則に基づき、米国で販売されるすべての WiFi 製品は、米国の運営チャンネルのみで使用しなければいけません。

高周波曝露情報 (SAR)

このデバイスは、政府の電波への曝露要件を満たしています。

このデバイスは、米国政府の連邦通信委員会が設定した無線周波数（高周波）エネルギーへの曝露の放出制限を超えないように設計製造されています。無線デバイスの曝露基準は、SAR (Specific Absorption Rate) として知られている計測単位を使用します。FCC によって設定された SAR 限界値は 1.6W / kg です。*SAR のテストは、FCC によって承認された標準操作位置で、テストされる全ての周波数帯域で最高の認定パワーレベルで行われます。SAR は最高の認定パワーレベルで決定されますが、実際の動作中デバイスの SAR レベルは、最大値をはるかに下回る可能性があります。これは、デバイスが離れた接続が難しいネットワークに到達するため、複数のパワーレベルで動作するように設計されているためです。通常、無線基地局のアンテナに近づくほど、パワーレベルは低くなります。様々なデバイス SAR レベルと様々な位置関係の間には差がありますが、全て政府の要件に適合しています。身体装着操作について、このデバイスはテストされ、FCC 基準に適合しています。金属を含まないアクセサリを併用する場合は、高周波曝露ガイドラインに従い、体から最小 0cm の位置に配置してください。その他のアクセサリの使用は、FCC の高周波曝露ガイドラインに適合していない可能性があります。身に着けるアクセサリを使用せず、耳にデバイスを装着していない場合は、デバイスのスイッチをオンにする際、ハンドセットを最小 0cm の位置にしてください。

製品の安全に関する警告

責任を持って使用してください。怪我を避けるために使用前にすべての指示と安全情報をお読みください。メーカーによって明示されたデバイスの操作周囲温度は 35°C です。

バッテリーの安全性

バッテリーの充電は、周囲温度 0°C~40°C の環境でのみ行ってください。

- ① 注意：バッテリーを誤って交換すると、爆発の危険があります。メーカーによって指定されている専用バッテリーのみ交換可能です。使用済みのバッテリーは、バッテリーメーカーの指示に従い廃棄してください。
- ② 注意：指定以外のバッテリーに交換した場合、爆発の危険性があります。使用済みバッテリーの処分については説明書に従ってください。
- ③ 注意：バッテリーの充電温度の上限は 35°C です。

アダプターの安全性

充電を行う場合は、一般的な室温と通気性の良い環境で行なってください。0°C~35°Cの範囲内の温度で充電を行ってください。

カムフラッシュの安全性

LED は、表示灯としてのみ使用されます。

Wi-Fi セーフティ

Wi-Fi の使用が禁止されている地域、または Wi-Fi が使用できない地域、飛行中の飛行機などで干渉や危険を引き起こす可能性がある場合は、WiFi をオフにしてください。

カナダでの注意

このデバイスは、カナダ産業省のライセンス免除型 RSS に従っています。

操作には、次の2つの条件があります。

(1) この装置は干渉を引き起こしません。そして、(2) このデバイスは、望まない動作の原因となる干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れる可能性があります。

このデバイスは、制御されていない環境での IC 放射線被曝に従っています。この

トランスミッタは同じ場所に設置してはいけません。エンドユーザーは、高周波曝露コンプライアンスを満たす指定の使用方法に従わなければなりません。このトランスミッタに使用されるアンテナは、共同設置したり、他のアンテナまたはトランスミッタと連携して操作してはいけません。

これらの要件は、1グラムの組織に平均してかかる 1.6W/kg を SAR 限度として設定しています。

本体上のこのデバイスの最高 SAR 値は 1.441W/Kg です。身体装着操作について、このデバイスはテストされています。金属を含まないアクセサリーとの併用のための高周波曝露規定では、体はデバイスおよびアンテナから最小 0cm の位置に配置しなければなりません。ベルトクリップ、ホルスターおよび同様のアクセサリーは金属構成要素を含まないものを使用してください。この条件を満たさないアクセサリーの使用は高周波曝露要件に適合しない場合があるので、避けてください。供給されているアンテナ、または、承認されているアンテナを使用してください。

製造元

Shanghai Sunmi Technology Co., Ltd. Room 505, KIC Plaza, No.388
Song Hu Road, Yang Pu District, Shanghai, China (200433)

この製品の有毒、または有害な物質

有毒または有害な物質、要素	部品名
	配線基盤部分
鉛 (Pb)	×
水銀 (Hg)	○
カドミウム (Cd)	○
六価クロミズム (Cr(VI))	○
ポリ臭化 ビフェニル (PBB)	○
ポリ臭化ジフェ ニルエーテル (PBDE)	○
<p>○: この部分のすべての材料中の有毒、または有害物質の含有量がSJ / T11363-2006で規定されている限度を下回っていることを意味します。</p> <p>×: SJ / T11363-2006に規定されている限度を超えている有毒または有害物質の含有量を意味する。表上に "x" が付いている部品については、代替できる物質がないため、内容物は限度を超えています。</p>	

環境保全期間を超える製品は、電子情報製品の管理と管理に関する規則に従ってリサイクルされ、廃棄されないものとします。

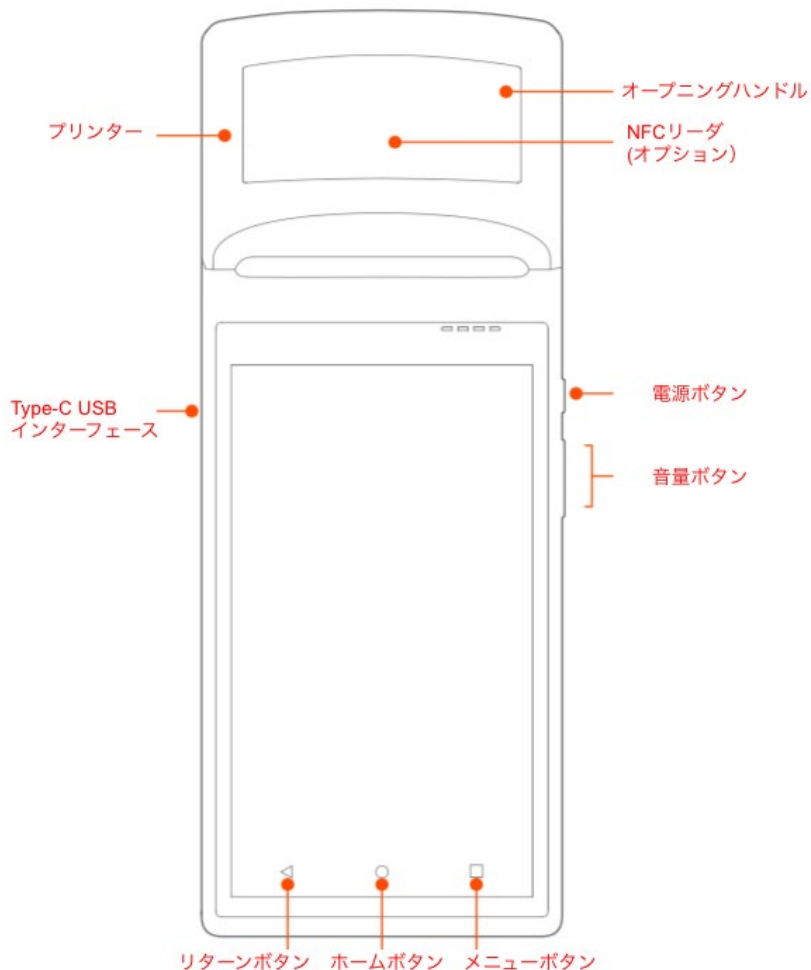
製品テクニカルデータ

項目	技術仕様
オペレーティングシステム	Android 6.0
CPU	MTK MT6580
CPU 周波数	1.3GHz quad-core
RAM	1GB LPDDR3
FLASH	8GB Nand Flash
ディスプレイ	5.5 インチ IPS, 解像度 1280x720
タッチスクリーン	静電容量方式マルチタッチスクリーン
カメラ	5.0M AF
スピーカー	90dB
マイクロフォン	MIC
ワイヤレスデータ	GSM (850/900/1800/1900) WCDMA (850/900/1900/2100)
WiFi	Built-in Wi-Fi 802.11b/g/n (2.4G)
Bluetooth	Bluetooth 3.0/4.0, iBeacon をサポート
NFC(オプション, 日本対応無し)	M1 カードのみサポート
ボタン	電源ボタン, ボリュームボタン
インターフェース	Type-C インターフェース, SIM カード
印刷方式	ラインサーマル印刷
印刷用紙仕様	幅 58mm, 最大直径 40mm
バッテリー	3.6V/5200mA
外形寸法	211mm(L)x83mm(W)x54mm(H)
アダプター	出力 DC5V/2A 入力 AC100~240V/0.3A 50/60Hz

パッキングリスト

V1S	x 1
簡易取説	x 1
電源アダプター	x 1
USB ケーブル	x 1

製品紹介



電源ボタン

短く押す： スクリーンを表示またはロックします。

長く押す： 電源オフの状態では2~3秒長押しすると電源オンになります。

- ・ 電源オンの状態で2~3秒長押しすると電源オフになります。
- ・ システムがフリーズした際、11秒間の長押しをすると、リブートをすることができます。

音量ボタン

音量の調整（アプリケーションとの連携でクイックコードスキャンボタンとしても使用できます。）

プリンター

売上伝票などの印刷に使用します。

リターンボタン

タップすることで前のスクリーンへ戻ります。

ホームボタン

タップすることでバックグラウンドプログラムの確認ができます。

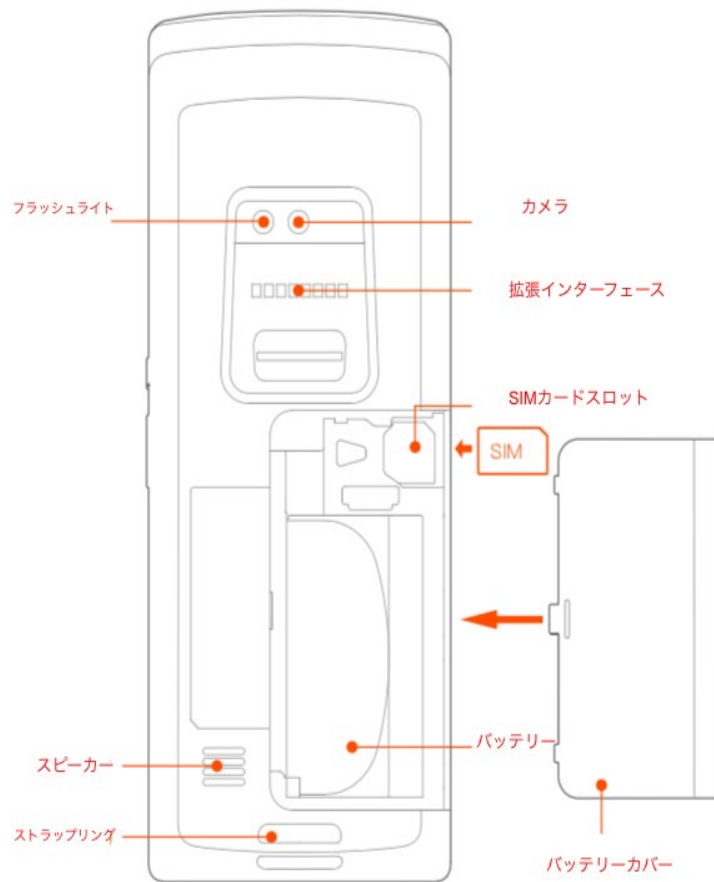
アプリを選択し、横へスライドさせることでクローズすることができます。

タイプC インターフェース

充電用、及び開発者用のデバッグ用として使用します。

NFCリーダー（オプション）

クイックパスコードをスキャンする際に使用します。



カメラ

QRコードのスキャン及び写真の撮影に使用します。

フラッシュライト

カメラモードにおけるフラッシュに使用します。

SIMカードスロット

注意：システムエラーを防ぐため、SIMカードを挿入する際は、必ず、本体が電源オフにあることを確認してください。

- ・ SIMカードカバーを垂直に移動させて開いてください
- ・ SIMカードを図のように挿入、または取り出してください
- ・ バッテリーカバーを垂直方向にしっかり閉めます。

バッテリー

水や金属、その他電氣的に充電された製品との接触は避けてください。

ストラップリング

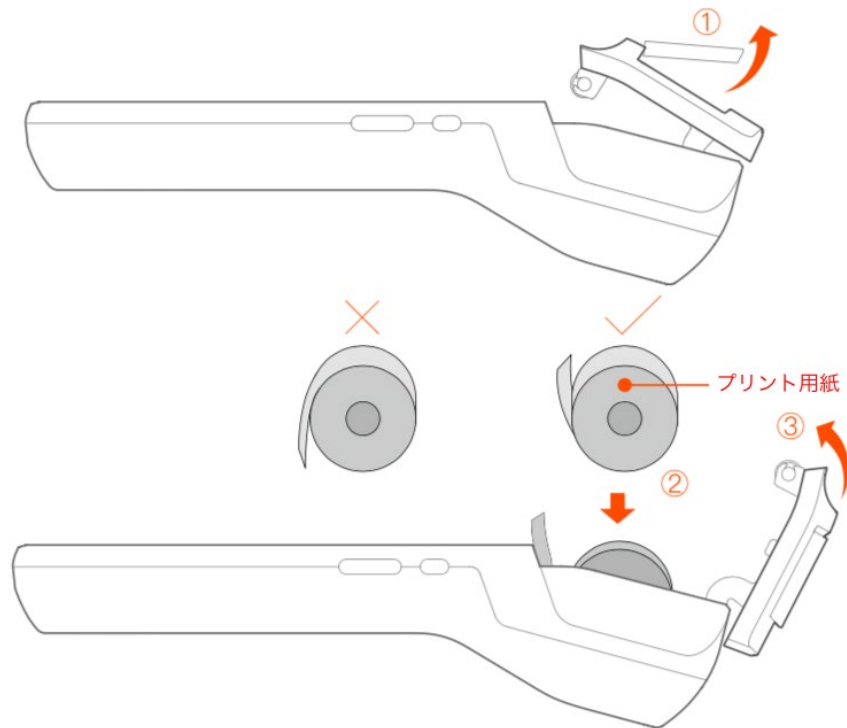
落下するのを防ぐストラップを固定するためのものです。

(このアクセサリは別売品です。)

拡張インターフェース

専用スタンドとの接続を行うインターフェースです。

(このアクセサリは別売品です。)



プリント方法

本デバイスは、58mm 幅サーマルロール紙(57±0.5mm x φ40mm)に対応しています。

- ・ オープニングハンドルで持ち上げて、ペーパーホルダーを開けます。破損を防ぐため、無理やり開けず、適度な力で正しく開けるようにしてください。
- ・ 図を参照して、ロール紙を正しくペーパーホルダーにセットします。この時、カッターの外側に少し紙を少し出してください。
- ・ ペーパーホルダーのカバーを閉じれば、ロール紙のセットは完了です。

注意：何も印刷されない場合は、用紙の向きが間違っていないか確認してください。

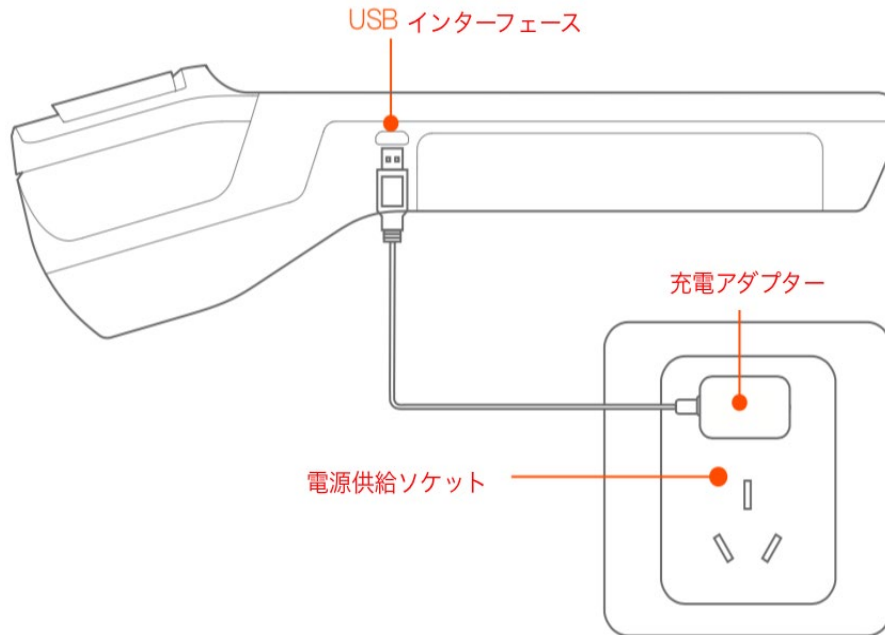
シンプルセッティング

本装置、スマートビジネスデバイスをスタートさせる手順を示します。

- ① 2F/3G セッティング：電源がオフの状態、2G(GSM)/3G(GSM)カードをセットし、デバイスの電源を立ち上げます。（対応しているカードの詳細に関しては、技術仕様を参照ください）
- ② スクリーンを再表示するために電源ボタンを2~3秒押します。最初のブーストインターフェースが表示されるので、表示されるプロンプトに従って、進んでください。本デバイスは、2つのネットワークパターンに対応しています。
- ③ WiFi セッティング
 - ・ [設定]ボタンをタップして、WLAN をオンにし、WLAN サーチインターフェースに入ります。利用できるWLAN ホットスポットがリストに表示するまで待ってください。
 - ・ 接続したいWLAN をタップします。暗号化されたネットワークを選択した場合、アクセスコードを入力する必要があります。

ダウンロード方法/アプリ使用方法

アプリマーケットを開き、オンラインでアプリのダウンロードを行います。



バッテリー充電方法

- 本デバイスは、USB ケーブルによる充電にのみ対応しています。
- 5V 充電アダプターを電源供給ソケット(AC100V 電源コンセント)へ接続します。
- USB ケーブルをデバイスの USB コネクタに接続し、充電を行います。
- 充電中は、スクリーンに充電アイコンが表示されます。
- 充電アイコンが表示されない場合は、USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

バッテリー使用方法と注意

- 本デバイスは、3.6V/5200mAh リチウムバッテリーを採用しています。バッテリーの分解は、絶対しないでください。
- バッテリー寿命を保つため、バッテリーを完全に使い切る前に、充電を行うようにしてください。

トラブルシューティング

プリンターが動かない

- ペーパーホルダーがきちり閉まっているか確認してください。
- 正しいロール紙が使用されているか、正しく挿入されているか確認してください。
- 注意：印刷を行っても、ロール紙が白紙の場合は、ロール紙が正しい向きにセットされているか確認してください。

デバイスの電源が入らない（例 バッテリー消耗）

- USB ケーブルを接続し、最低 3 分間デバイスを充電します。
- スクリーンに充電アイコンが表示されるか確認します。

システムがフリーズした場合の対処

電源ボタンを 11 秒間長押し、デバイスをリブートします。

詳細情報は、デバイス内の“ヘルプアプリ”をお読みください。